

平成27年度

# 羽村市市政世論調査 概要版

羽村市市政世論調査は、羽村市民の市政に対する意見・要望などを把握し、第五次羽村市長期総合計画の後期基本計画及び今後のまちづくりの参考とすることを目的として実施しました。

## 調査の方法と回収状況

- (1) 調査の地域 : 羽村市全域
- (2) 調査の対象者 : 羽村市在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本の抽出 : 住民基本台帳から層化二段無作為抽出
- (4) 標本数 : 1,200人
- (5) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 : 平成27年8月24日(月)～9月7日(月)
- (7) 有効回収数(率) : 518票(43.2%)

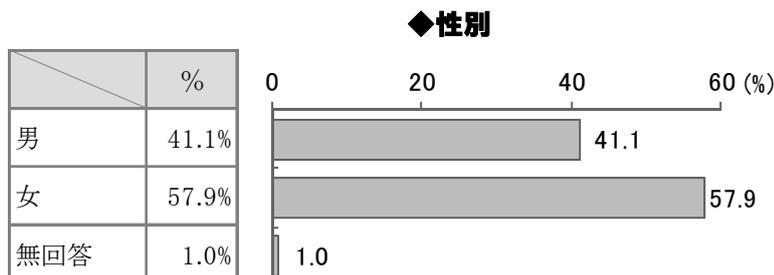
## 調査項目

- (1) 定住性と住みよさ
- (2) 市の施策に対する満足度・重要度
- (3) 羽村市の魅力・羽村らしさ
- (4) 市政への関心度
- (5) 市民活動
- (6) 男女共同参画
- (7) 行政改革
- (8) 水道事業
- (9) 環境
- (10) 高齢者福祉
- (11) 障害者福祉
- (12) 防災・防犯対策
- (13) 都市基盤
- (14) 生涯学習

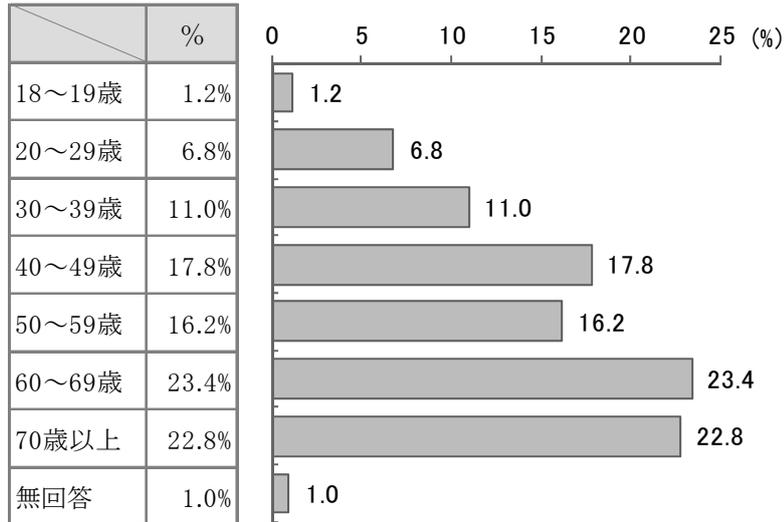
## 概要版をみるにあたって

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しているため、単数回答(1つだけ選ぶ問)の比率の合計は100%にならないことがあります。
- (2) 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問では、その回答比率の合計は100%を超えます。
- (3) 図における「n」は、各設問に対する回答者数を示しています。

## 回答者の属性



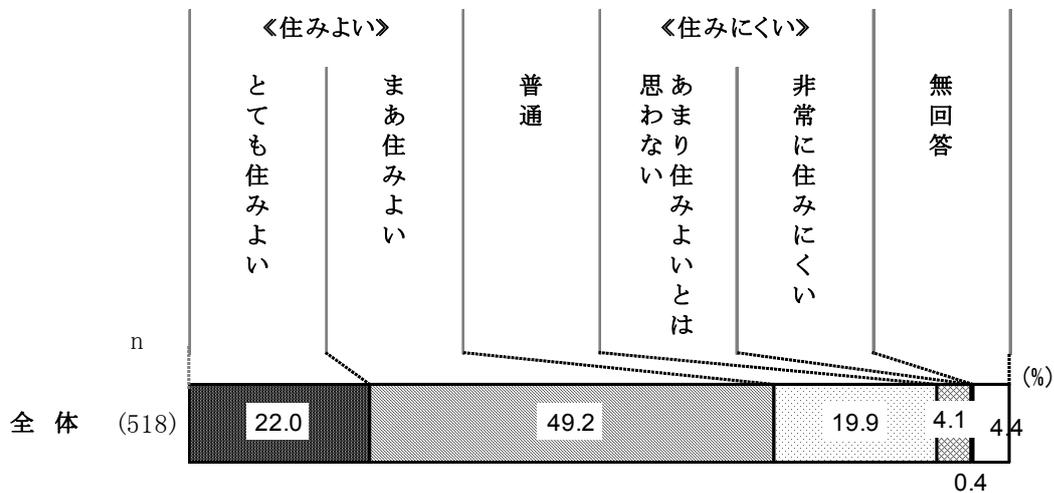
◆年齢



## 1. 定住性と住みよさ

◆住みよさ

羽村市の住みよさは、「とても住みよい」が 22.0%、「まあ住みよい」が 49.2%で、これをあわせた《住みよい》は 71.2%と多数を占めています。一方、「非常に住みにくい」(0.4%)と「あまり住みよいとは思わない」(4.1%)をあわせた《住みにくい》は 4.5%とわずかです。



◆住みよい理由

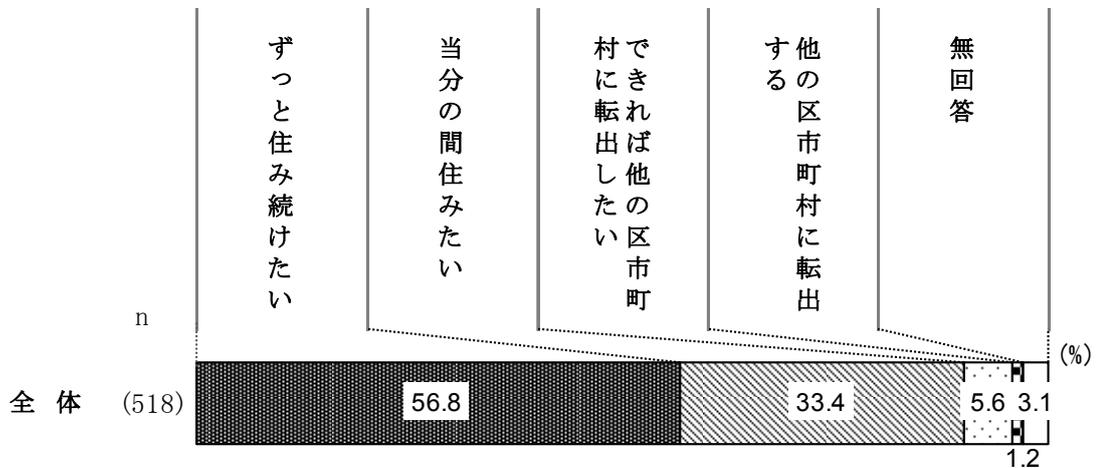
《住みよい》と回答した人の理由は、「自然環境が良い」(37.1%)が最も多く、ついで、「道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている」(23.6%)がつづいています。

◆住みにくい理由

《住みにくい》と回答した人の理由は、「都市環境が良くない」(21.7%)が最も多く、ついで「道路や公共施設が不十分」(17.4%)と「買物が不便」(17.4%)がつづいています。

## ◆定住意向

今後の羽村市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」が 56.8%、「当分の間住みたい」が 33.4%で、これをあわせた《住みたい》は 90.2%と多数を占めています。



## 2. 市の施策に対する満足度・重要度

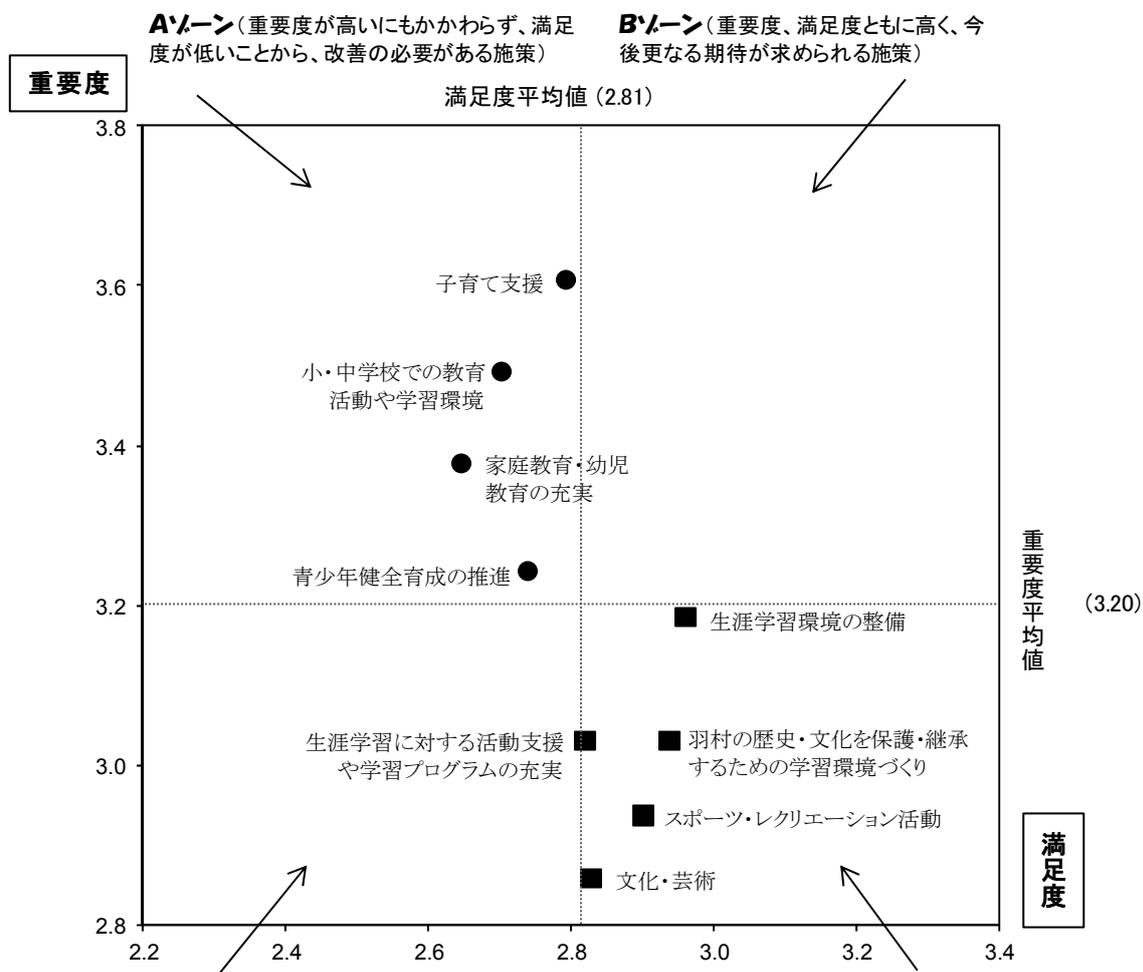
市で取り組んでいる様々な施策に対する満足度・重要度を評価してもらい、市の第五次長期総合計画で定めた基本目標ごとに、満足度を横軸、重要度を縦軸にとり、平均値を境として4つの領域に分類したものが次ページからの図です。平均値の算出方法は以下のとおりです。

- ※「満足である」「重要である」＝「4」
  - 「どちらかといえば満足」「どちらかといえば重要」＝「3」
  - 「どちらかといえば不満」「どちらかといえば重要でない」＝「2」
  - 「不満である」「重要でない」＝「1」
- として得点を与え、「4」から「1」の回答者をベースに加重平均値を計算。

4つの領域の特性は以下のとおりであり、特に、Aゾーンの項目については、優先課題として検討が求められます。

各ゾーンの特性	
<b>Aゾーン</b>	重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目。施策の推進や改善に対する市民のニーズが高く、優先課題に位置づけられる項目です。
<b>Bゾーン</b>	重要度、満足度ともに平均値より高い項目。現在の取り組みにも満足している市民が多いが、重要度も高いことから、今後更なる期待がされていると考えられる項目です。
<b>Cゾーン</b>	重要度、満足度ともに平均値より低い項目。満足度の向上を目指しつつも、施策実施の方法や周知の方法などについても検討が必要と考えられる項目です。
<b>Dゾーン</b>	重要度が平均値より低く、満足度が平均値より高い項目。現状の取り組みには満足している項目であり、現状維持が求められていると考えられる項目です。

## 基本目標1：生涯を通じて学び育つまち【子ども・生涯学習の分野】

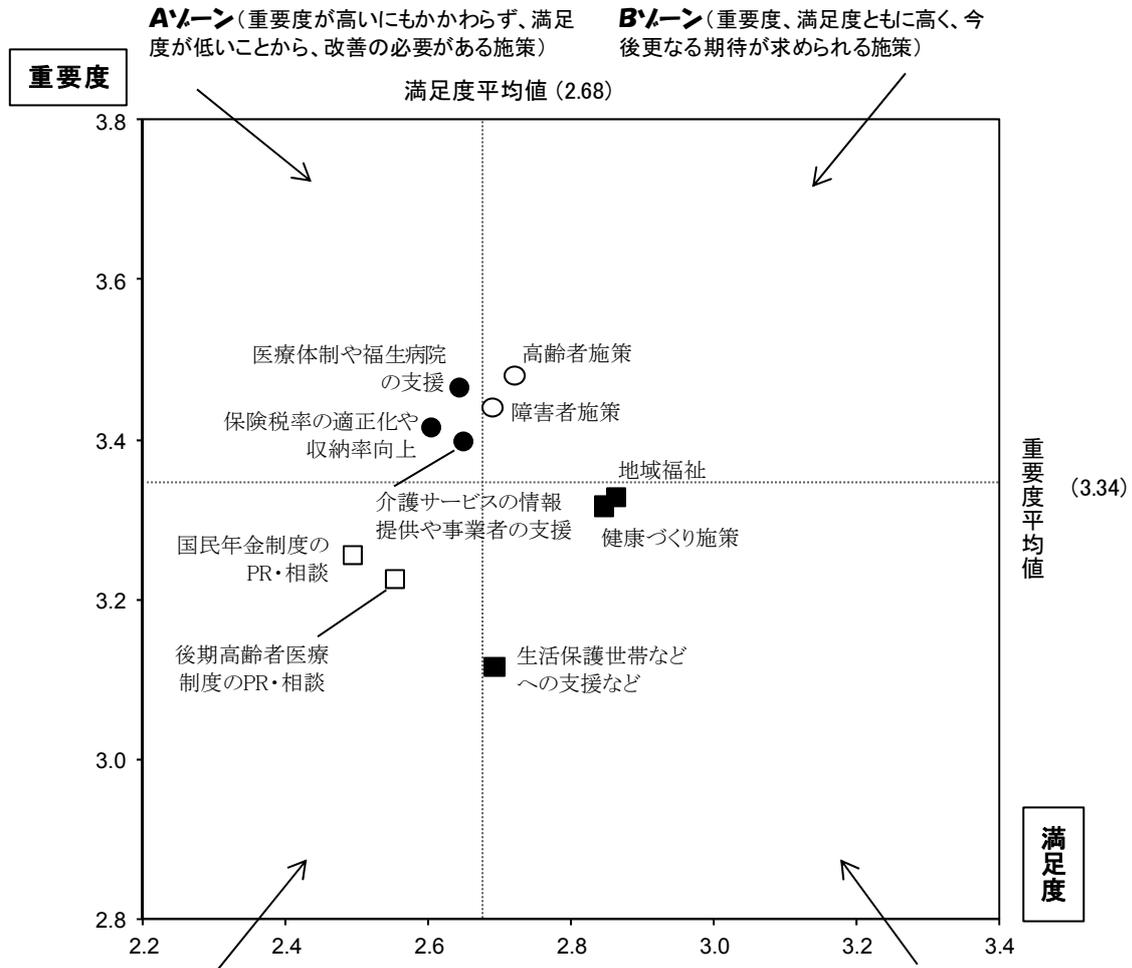


**Cゾーン** (重要度、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)

**Dゾーン** (重要度は低い、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策)

		満足度	重要度
●Aゾーン	家庭教育・幼児教育の充実	2.65	3.38
	小・中学校での教育活動や学習環境	2.70	3.49
	青少年健全育成の推進	2.74	3.24
	子育て支援	2.79	3.61
■Dゾーン	生涯学習環境の整備	2.96	3.18
	生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	2.82	3.03
	文化・芸術	2.83	2.86
	スポーツ・レクリエーション活動	2.90	2.94
	羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	2.94	3.03

## 基本目標2：安心して暮らせる支え合いのまち【福祉・健康の分野】

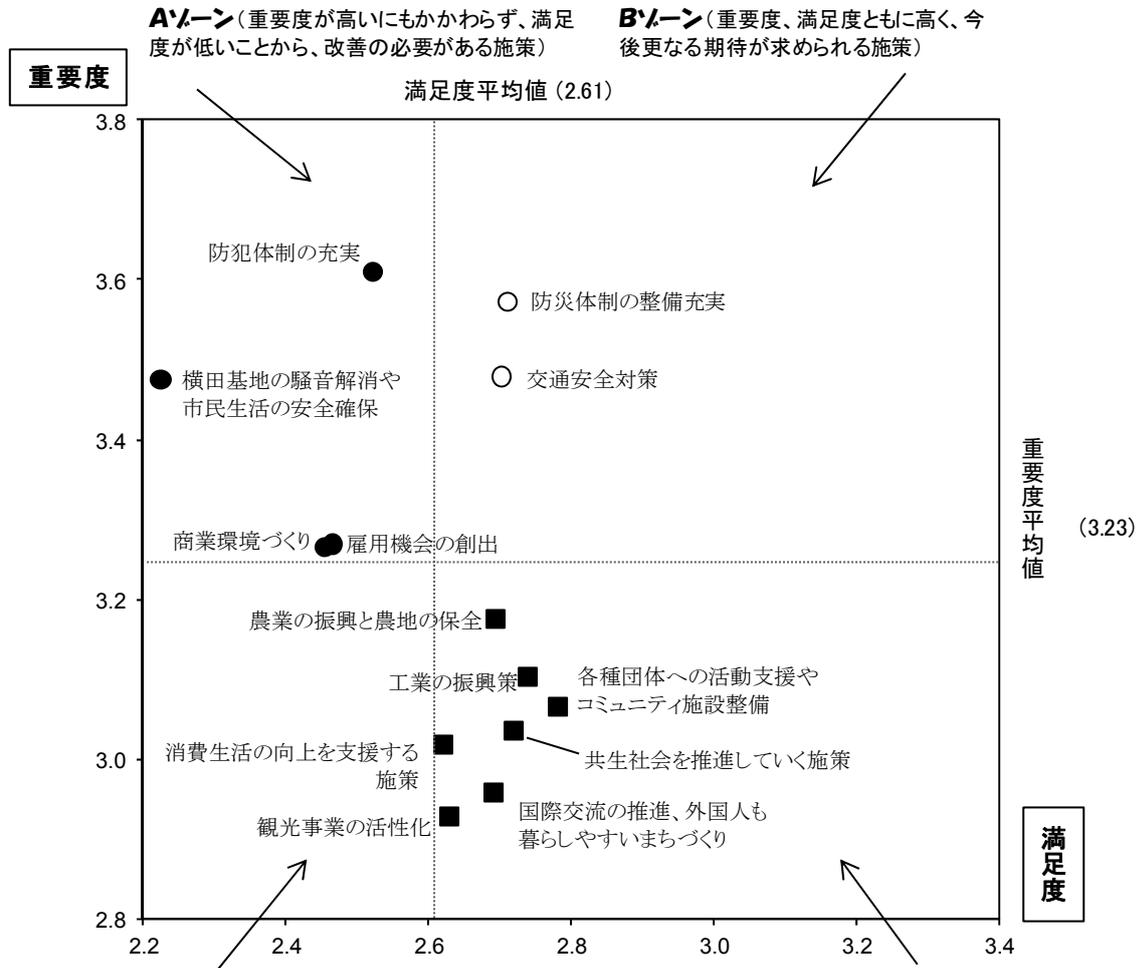


**Cゾーン**（重要度、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策）

**Dゾーン**（重要度は低いが高満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策）

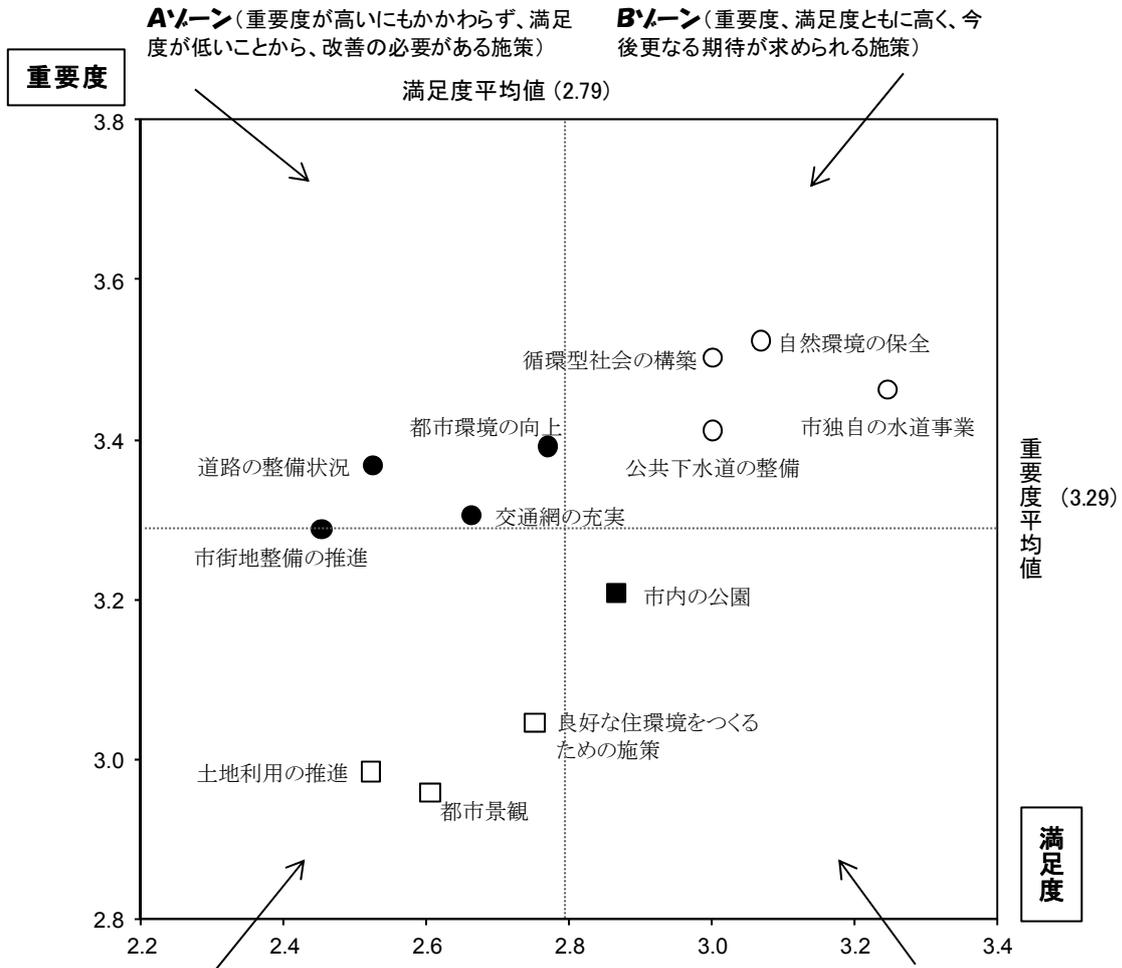
		満足度	重要度
●Aゾーン	介護サービスの情報提供や事業者の支援	2.65	3.40
	保険税率の適正化や収納率向上	2.61	3.41
	医療体制や福生病院の支援	2.65	3.46
○Bゾーン	高齢者施策	2.72	3.48
	障害者施策	2.69	3.44
□Cゾーン	後期高齢者医療制度のPR・相談	2.55	3.22
	国民年金制度のPR・相談	2.49	3.25
■Dゾーン	地域福祉	2.86	3.33
	生活保護世帯などへの支援など	2.69	3.12
	健康づくり施策	2.85	3.32

### 基本目標3：ふれあいと活力のあふれるまち【市民生活・産業の分野】



		満足度	重要度
●Aゾーン	防犯体制の充実	2.52	3.61
	横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保	2.22	3.48
	商業環境づくり	2.46	3.27
	雇用機会の創出	2.47	3.27
○Bゾーン	防災体制の整備充実	2.71	3.57
	交通安全対策	2.70	3.48
■Dゾーン	工業の振興策	2.74	3.10
	農業の振興と農地の保全	2.70	3.17
	観光事業の活性化	2.63	2.93
	消費生活の向上を支援する施策	2.62	3.02
	各種団体への活動支援やコミュニティ施設整備	2.78	3.07
	共生社会を推進していく施策	2.72	3.03
	国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	2.69	2.96

## 基本目標4：ひとと環境にやさしい安全で快適なまち【環境・都市整備の分野】

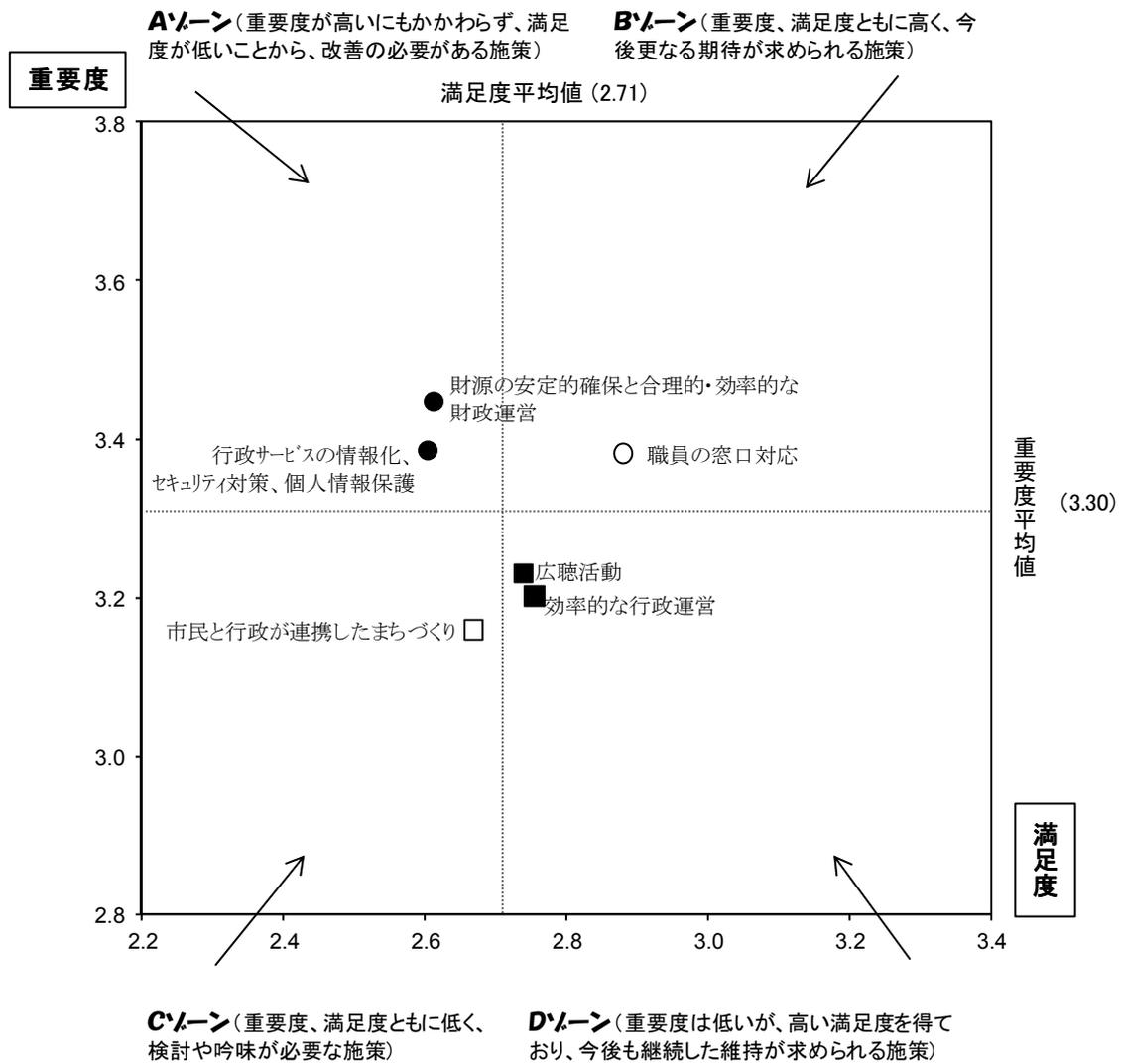


**Cゾーン** (重要度、満足度ともに低く、検討や吟味が必要な施策)

**Dゾーン** (重要度は低いが、高い満足度を得ており、今後も継続した維持が求められる施策)

		満足度	重要度
● Aゾーン	都市環境の向上	2.77	3.39
	市街地整備の推進	2.45	3.29
	道路の整備状況	2.53	3.37
	交通網の充実	2.66	3.31
○ Bゾーン	自然環境の保全	3.07	3.52
	循環型社会の構築	3.00	3.50
	市独自の水道事業	3.25	3.46
	公共下水道の整備	3.00	3.41
□ Cゾーン	都市景観	2.61	2.96
	土地利用の推進	2.52	2.98
	良好な住環境をつくるための施策	2.75	3.05
■ Dゾーン	市内の公園	2.87	3.21

## 基本構想を推進するために



		満足度	重要度
●Aゾーン	行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	2.60	3.38
	財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営	2.61	3.45
○Bゾーン	職員の窓口対応	2.88	3.38
□Cゾーン	市民と行政が連携したまちづくり	2.67	3.16
■Dゾーン	広聴活動	2.74	3.23
	効率的な行政運営	2.75	3.20

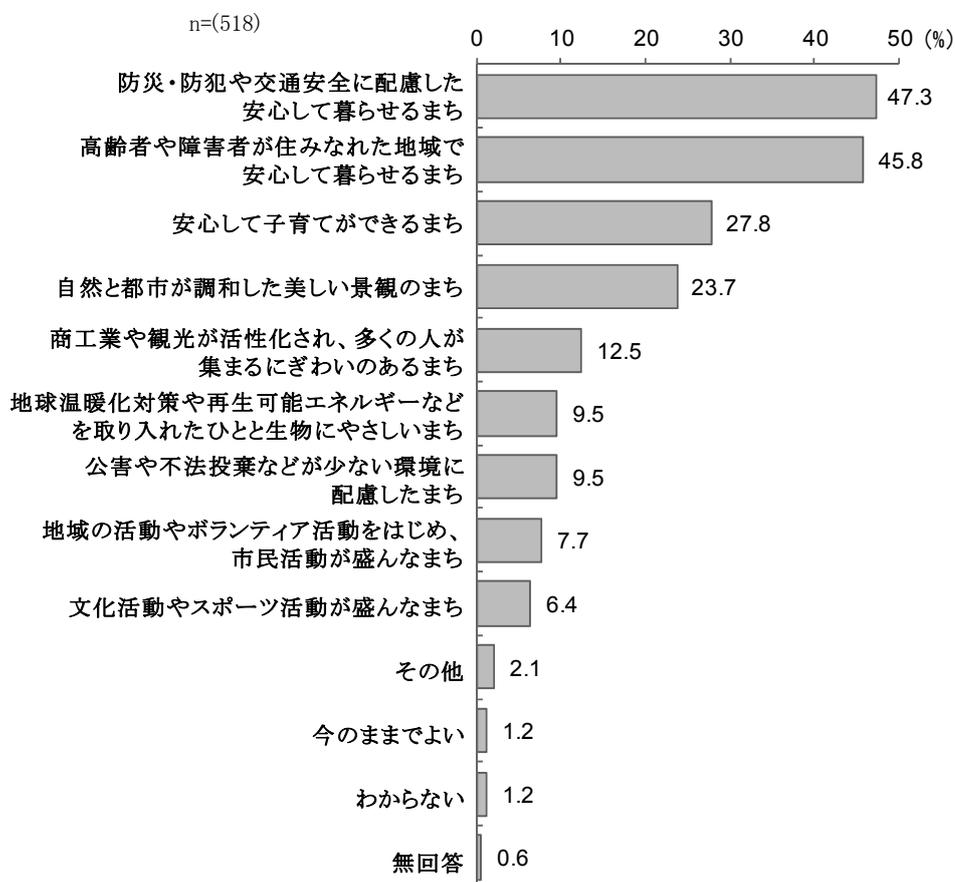
### 3. 羽村市の魅力・羽村らしさ

#### ◆羽村市の魅力・羽村らしさ

羽村市の魅力や羽村らしさを感じるものとしては、「羽村の堰」が57.9%と6割近くを占め、最も多く、以下、「動物公園」(40.3%)「花と水のまつり(さくらまつり、チューリップまつり)」(27.0%)、「地下水100%の水道水(ペットボトル水『水はむら』)」(22.6%)「玉川上水」(20.7%)、「多摩川」(19.9%)、「チューリップ畑」(19.7%)、「はむら夏まつり」(18.1%)が20%前後でつづいています。

#### ◆希望する将来の市のまちづくり

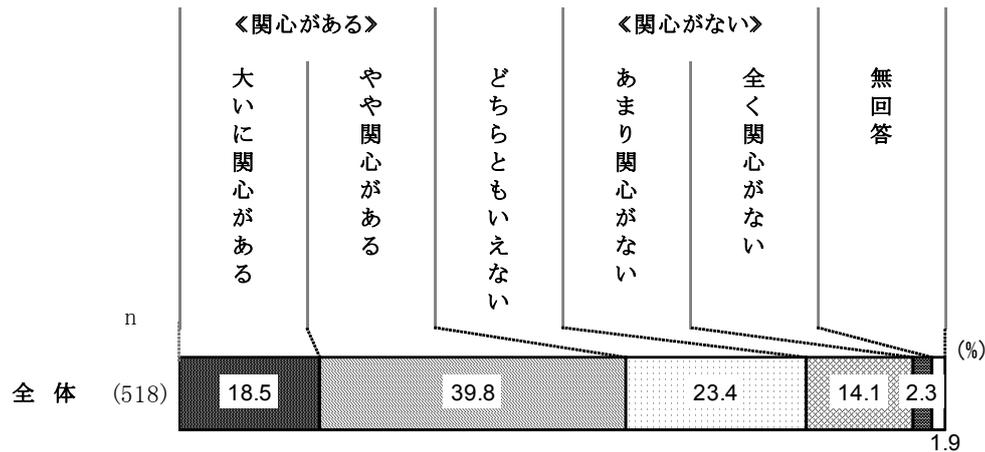
将来の羽村市がどのようなまちであってほしいかについては、「防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち」(47.3%)と「高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち」(45.8%)の2項目が40%台で上位にあげられています。



### 4. 市政への関心度

#### ◆市政への関心度

市政への関心については、「大いに関心がある」が18.5%、「やや関心がある」が39.8%で、これをあわせた《関心がある》は58.3%と6割近くを占めています。一方、「全く関心がない」(2.3%)、「あまり関心がない」(14.1%)をあわせた《関心がない》は16.4%にとどまっています。



#### ◆力を入れてほしい、新たに取り組んでもらいたい施策

今後、市に力を入れてほしいと思う施策、新たに取り組んでもらいたい施策としては、「高齢者福祉」が44.8%で最も多く、以下、「医療機関の充実に向けた施策」(27.6%)、「水や緑を守る自然環境対策」(23.2%)、「子育て支援対策」(23.0%)、「防犯対策」(18.7%)とつづいています。

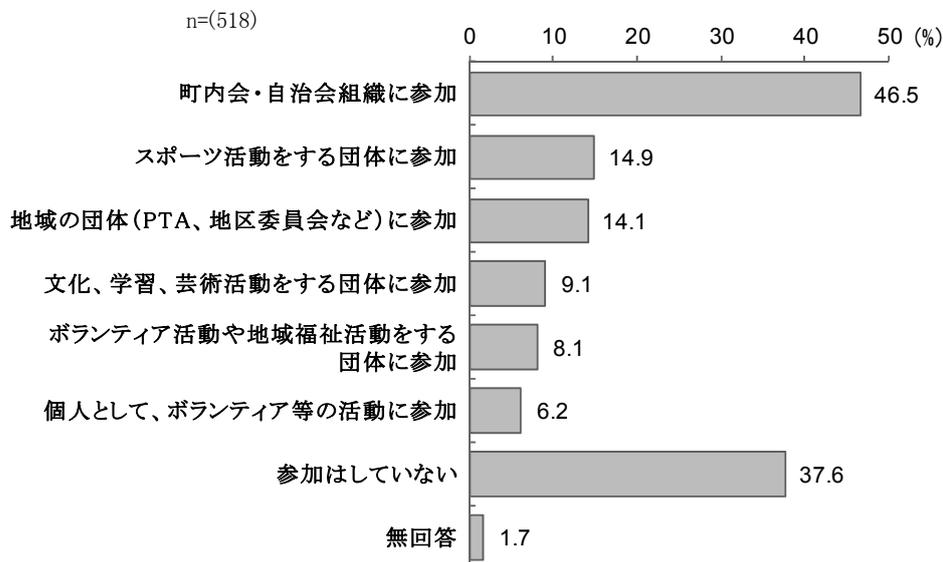
#### ◆市政への参加・協働意向

市政への参加・協働意向は、「出前講座などへの参加」が7.7%、「公園ボランティア等の公共施設管理など」が7.5%、「捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア」が7.1%となっており、参加意向全体としては51.4%と半数強にとどまっています。「参加をためらっている」(12.7%)、「わからない」(25.9%)とする人が少なくありません。

## 5. 市民活動

#### ◆市民活動への参加状況

市民活動への参加状況を見ると、「町内会・自治会組織に参加」が46.5%で最も多く、以下、「スポーツ活動をする団体に参加」(14.9%)、「地域の団体(PTA、地区委員会など)に参加」(14.1%)が10%台となっています。一方、「参加はしていない」とする人も37.6%と4割近くを占めています。



### ◆市民活動への不参加理由

市民活動に参加していない主な理由としては、「忙しくて時間がとれない」が48.7%と半数近くを占めています。以下、「活動に関する情報がない、情報が得られない」(22.6%)、「健康に自信がない、続けられるかが不安」(19.5%)、「人間関係がわずらわしい」(18.5%)、「活動自体に興味関心がない」(17.4%)が20%前後でつづいています。

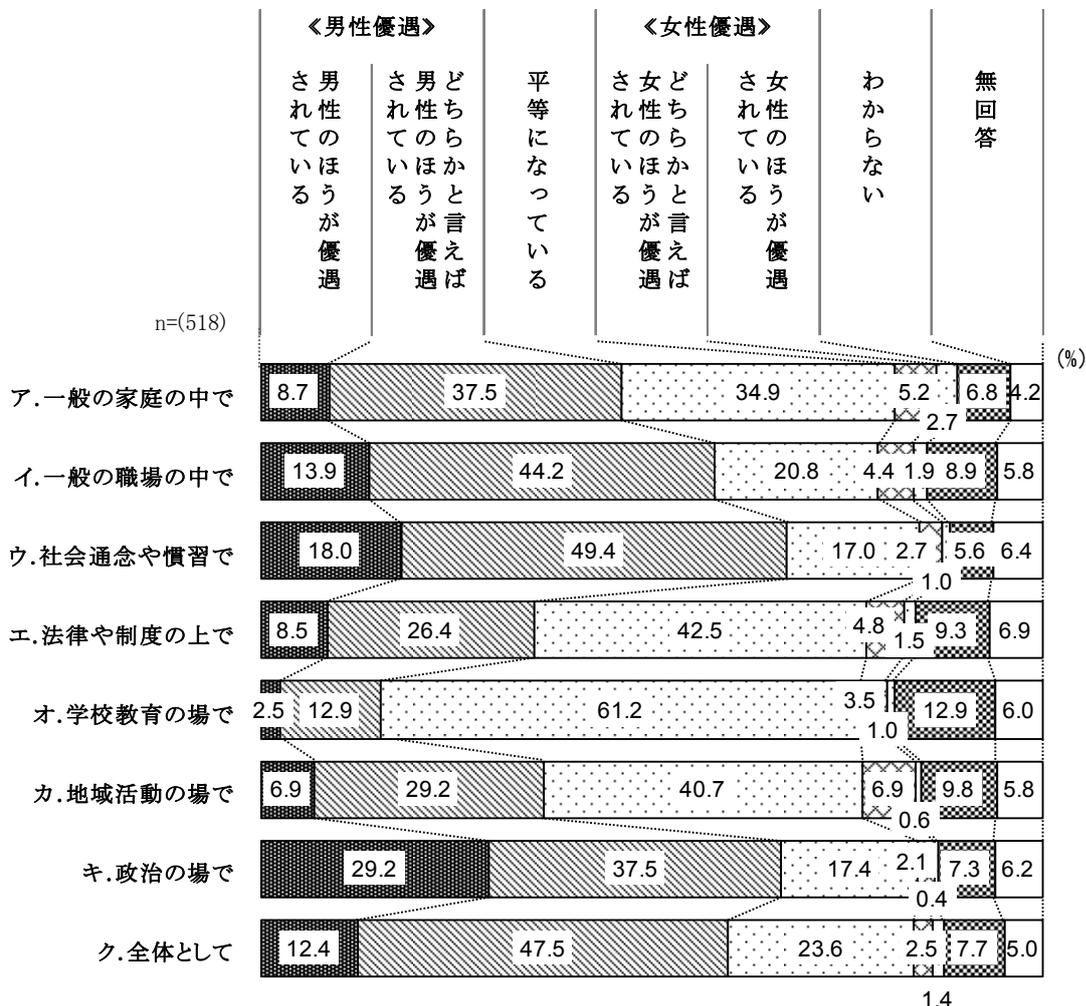
### ◆町内会・自治会組織への不参加理由

町内会・自治会組織に参加していない主な理由としては、「仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間が無い」をあげる人が39.4%で最も多く、以下、「役員などになりたくない」(26.0%)、「どのような組織で、どのような活動をしているのかわからない」(21.7%)が20%台でつづいています。

## 6. 男女共同参画

### ◆各分野における男女平等感

「平等になっている」は、「学校教育の場で」が61.2%と多く、ついで「法律や制度の上で」(42.5%)、「地域活動の場で」(40.7%)が40%台となっています。《男性優遇》(「男性の方が優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)は、「社会通念や慣習で」(67.4%)、「政治の場で」(66.7%)で60%台後半、「全体として」(59.9%)、「一般の職場の中で」(58.1%)でも60%近くとなっています。一方、《女性優遇》はいずれも10%以下と少なくなっています。



#### ◆男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこと

男女共同参画社会を形成するために力を入れていくべきこととしては、「高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する」(25.5%)、「保育の施設やサービスを充実する」(22.4%)が20%台、以下、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」(19.3%)、「女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する」(16.4%)、「子育て相談など男性の子育て参画を支援する」(14.9%)、「学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する」(14.7%)、「職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する」(14.3%)、がつづき、多様で多岐にわたる施策が求められています。

#### ◆男女共同参画に関する用語の認知度

男女共同参画に関する用語の認知状況をみると、「ストーカー」(94.4%)、「DV(ドメスティック・バイオレンス)」(87.5%)、「セクシュアル・ハラスメント」(86.9%)、「イクメン」(86.1%)、「パワー・ハラスメント」(84.6%)、「マタニティ・ハラスメント」(80.5%)の6つは80%以上の人が見たり聞いたりしたことがあるとしています。なお、男女共同参画社会のキーワードである「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」は38.8%にとどまっています。

#### ◆女性が職業を持ち続けるために必要なこと

女性が職業を持ち続けるために必要なこととしては、「家族の協力」が53.5%で最も多く、ついで、「働きやすい職場環境づくり」が46.1%と多くなっています。以下、「保育施設の充実」(37.5%)、「子育て支援制度の充実」(24.5%)がつづいています。

#### ◆配偶者からの暴力について相談可能窓口の認知度

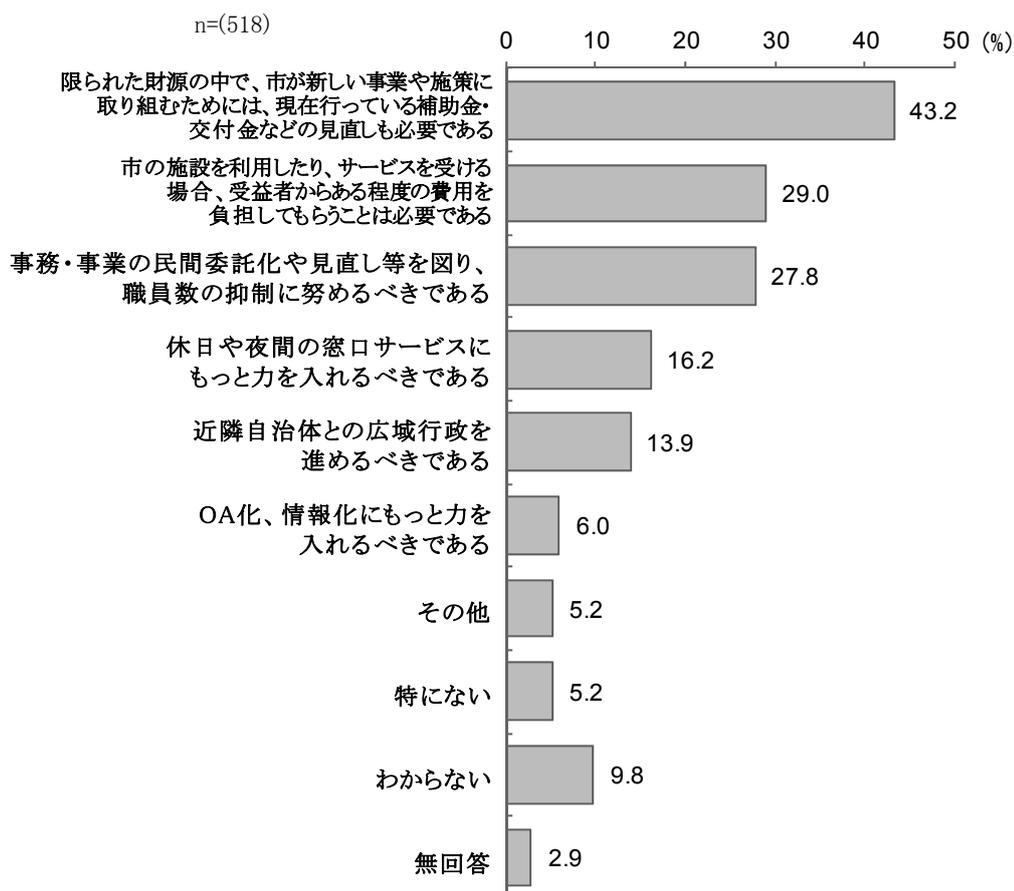
配偶者からの暴力を相談できる窓口の認知度は、「知っている」が35.1%にとどまり、「知らない」が61.6%と多くなっています。

#### ◆男女間の暴力を防止するために必要なこと

男女間における暴力を防止するために必要なこととしては、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」が49.6%で最も多く、以下、「家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う」(31.1%)、「学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う」(30.9%)、「加害者への罰則を強化する」(25.9%)がつづいています。

## 7. 行政改革

今後の行政改革の進め方に対する考えをみると、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が43.2%で最も多く、以下、「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」(29.0%)、「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである」(27.8%)がつづいています。



## 8. 水道事業

### ◆市水道事業の水源の周知度

羽村市の水道事業が市単独の事業であり、水源が地下水100%であることについては、「知っている」が77.0%、「知らない」が21.6%となっています。

### ◆市水道水の印象

羽村市の水道水の印象は、「おいしい」が59.5%、「どちらかといえばおいしい」が31.7%で、これをあわせた《おいしい》は91.2%となっています。

## 9. 環境

### ◆環境への取り組みとして重点をおくべきもの

環境への取り組みとして重点をおくべきものとしては、「樹木や緑地を守り育てる取り組み」が44.0%で最も多く、以下、「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取り組み」(30.9%)、「ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取り組み」(28.2%)、「大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取り組み」(26.3%)、「雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取り組み」(25.7%)がつついています。

#### ◆「グリーン購入」制度の認知度

「グリーン購入」制度を「知っている」は35.1%と3人に1人強の割合となっています。

#### ◆「グリーン購入」の製品の購入状況

「グリーン制度」を「知っている」と回答した人の購入状況をみると、「よく購入している」（12.1%）と「購入したことがある」（69.8%）とを合わせた《購入率》は81.9%と多数を占めています。

## 10. 高齢者福祉

#### ◆市に力をいれてほしい高齢者福祉施策

市に力をいれてほしい高齢者福祉施策は、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」（35.3%）、「高齢者の健康づくり・介護予防策の充実」（33.8%）、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」（33.2%）、「認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実」（30.9%）の4項目が30%台で上位にあげられ全体として多様な施策が求められています。

#### ◆老後の暮らし方

老後の暮らし方では、「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」（51.0%）と「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」（50.2%）が半数を占め、多くなっています。

## 11. 障害者福祉

今後必要な障害者福祉施策としては、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」が39.6%で最も多く、以下、「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」（25.3%）、「福祉手当や各種助成金など経済給付の充実」（18.9%）、「グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実」（17.8%）「ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援」（15.8%）、「福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実」（15.6%）などがつづいており、多岐にわたる施策があげられています。

## 12. 防災・防犯対策

#### ◆防災対策で重点をおいて進めるべきもの

防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきものとしては、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」が45.6%で最も多く、以下、「応急医療体制の充実」（29.3%）、「子どもや高齢者、障害者などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実」（28.4%）、「防災に関する知識や情報の提供の充実」（26.6%）、「避難場所や避難道路などの標識・案内の整備」（23.9%）、「高齢化社会における防災対策（情報伝達等）の充実」（23.9%）が20%台でつづいています。

#### ◆防犯対策で重点をおいて進めるべきもの

防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものは、「公共の場などへの防犯カメラの設置」（44.0%）と「パトロールカーによる巡回の強化の要請」（39.0%）の2項目が40%前後で上位にあげら

れ、「交番への警察官の常時配置の要請」(22.0%)、「安全パトロールの充実」(20.1%)が20%台でつづいています。

## 13. 都市基盤

### ◆市の都市基盤整備に望むこと

今後の羽村市の都市基盤の整備に望むこととしては、「バリアフリーのまちづくり」が35.5%で最も多く、ついで、「市街地の整備(土地区画整理事業・市街地再開発事業など)」(27.4%)と「道路の整備」(27.0%)の2項目が30%弱でつづいています。

### ◆市の道路整備で優先すべきもの

今後、市の道路整備で優先すべきことは、「自転車の通行スペースの確保」が53.5%で最も多く、ついで、「街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実」(34.0%)、「歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策」(32.6%)、「歩道の拡幅」(31.1%)が30%台でつづいています。

### ◆まちの活性化のために必要な施策

今後、活気に満ちた賑わいのあるまちを目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な施策としては、「いろいろな業種の商店が集まるような施策」(34.6%)、「駐車場や駐輪場の整備」(30.5%)、「駅前空き店舗の活用」(29.7%)の3施策が3割前後で上位にあげられています。

## 14. 生涯学習

### ◆「学び」に関する活動の実施

この1年間に「学び」に関する活動を行った人は51.2%と半数強を占めています。

### ◆「学び」を行う目的

「学び」に関する活動を行った人の目的をみると、「趣味・楽しみのため」(61.9%)と「自身の向上のため」(56.2%)の2つが多くなっており、以下、「健康増進のため」(32.1%)と「仕事に必要なため」(25.3%)がつづいています。

### ◆「学び」の分野

「学び」に関する活動を行った人の分野をみると、「スポーツ」(30.9%)、「文学・読書」(26.0%)、「健康・食育」(24.5%)の3つが20%以上でやや多くなっており、全体的には多岐にわたる分野の「学び」に関する活動が行われています。

### ◆これからの「学び」に取り組むための目的

この1年間に「学び」に関する活動を行ったことがない人の「学び」に取り組む場合の目的をみると、「趣味・楽しみのため」をあげる人が61.6%と多数を占めています。ついで、「スポーツ・健康増進のため」(37.5%)、「資格取得などのため」(23.3%)がつづいています。

### ◆「学び」に取り組まなかった理由

この1年間に「学び」に関する活動を行ったことがない人でその理由をみると、「時間的なゆとりがなかつ

たから」が50.4%と半数を占め、ついで、「動機・熱意が不足していたから」(24.6%)と「経済的なゆとりがなかったから」(20.3%)が20%台でつづいています。

#### ◆月間の読書冊数

この1年間の本の月間読書冊数は、「1～2冊」が39.0%と最も多く、ついで、「3～5冊」が21.4%でつづいています。一方、「読んでいない」とする人は18.3%と約5人に1人の割合となっています。

#### ◆読書の目的

読書の目的については、「知識・教養を深めるため」(52.3%)と「心を豊かにするため」(48.4%)の2つが50%前後と多く、ついで、「趣味の世界を広げるため」(42.1%)、「調べものをするため」(37.2%)が40%前後でつづいています。

#### ◆本の入手方法

本の入手方法としては、「書店・コンビニで購入」が78.1%と多数を占めて、ついで、「羽村市図書館で借りる」が30.2%、「通信販売で購入」が23.1%、「古本屋で購入」が22.4%でつづいています。

#### ◆年間のスポーツ・運動日数

この1年間にスポーツ・運動を行っている人は頻度の差はあるものの、約70%の人が行っています。このうち《週に1日以上》(「週に3日以上」+「週に2日以上」+「週に1日以上」)は50.8%と半数を占めています。一方、全くしていないという人は27.8%でした。

#### ◆スポーツ・運動を行う理由

スポーツ・運動を行う理由としては、「健康維持・増進のため」が67.7%と最も多く、ついで、「運動不足を感じるから」が55.0%、「楽しみや気晴らしのため」が42.3%、「友人・仲間などとの交流のため」が31.5%でつづいています。

#### ◆この1年間に行ったスポーツ・運動の種目

この1年間に行ったスポーツ・運動の種目としては、「ウォーキング・散歩」が69.9%と最も多くなっています。ついで、「体操(ラジオ体操・ストレッチ・ヨガ・エアロビクス・縄跳びなど)」が35.6%、「球技(野球・サッカー・バレーボール・テニス・ゲートボールなど)」が24.9%でつづいています。

## 羽村市市政世論調査概要版

平成28年1月

発行／羽村市企画総務部広報広聴課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5丁目2番地1

電話 042-555-1111 (代表)

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



古紙配合率80%再生紙を使用しています